

ISDA® JAPAN MONTHLY UPDATE

2016年12月

コミッティ活動

REGULATORY: 担当 森田 (tmorita@isda.org) / 洞口 (khoriguchi@isda.org)

信託口との取引にかかるサブワーキング・グループ

12月19日、ISDAは、ディーラー、信託銀行、運用会社を含むメンバーでミーティングを開催、欧米、本邦、その他のクロスボーダーの法域下で証拠金規制が適用された場合の本邦の信託勘定に関して、金融庁の「監督指針」に対応したドキュメンテーションの方針について話し合いを行った。

議題は、以下のとおり。

- 1) 金融庁が公表した「監督指針」に従ったバイラテラルVM CSAとISDAマスター契約のスケジュールに関する雛形ドラフト最終版の内容と、メンバーの同意が必要とされる標準オプションについて。
- 2) 金融庁の監督指針に適用される米国CFTCの代替的コンプライアンスの対象とならない本邦の信託勘定の多くを占める取引への影響。
- 3) 情報共有を目的とした、担保管理のオペレーションフローに関する問題点と解決方法。

また、NotificationTime（通知時限）の設定に関し、より多くの選択肢を加えることを可能とするISDA 2016 VM Protocol “Supplementary Questionnaire” のドラフトを現在作成しており、完成次第、メンバーに回覧の予定。

日本円ベンチマーク・フォールバック・ワーキンググループ

12月5日と19日、ISDAは日本円ベンチマーク・ワーキンググループの第二、第三回目の会合を開催、議題に沿って話し合いが行われた。

日本円、USD、及びGBP/EUR/CHFベンチマーク・ワーキンググループは1月9日に開催されるFSB OSSGのミーティングへ向けた報告書も含め、協調して活動を行うこととしていることから、JPYのフォールバックと関連する問題について具体的な検討に入る前に、他の二つのワーキンググループの進捗状況について共有された。

また、ドラフトの最終版に先立ち、追加のコメントが募集され、中間報告メモが12月21日にOSSGに提出された。

REGULATORY/DOCUMENTATION: 担当 森田 (tmorita@isda.org)

Resolution Stay

12月16日、ISDAは破綻処理における終了権に関して契約書の修正を可能とするプロトコル（ISDA Resolution Stay Jurisdictional Modular Protocol | Japanese Jurisdictional Module）のPre-publicationドラフトが回覧された。最終版の公表は1月初旬を予定。

COLLATERAL: 担当 森田 (tmorita@isda.org)

VM ビッグバン

12月1日、ISDAは金融庁と面談を行い、CSAの交渉、締結状況と、限られた時間でCSAを締結しなければならないことにより生じる問題点、欧州規制における決済期間の明確化、信託勘定の扱い、代替コンプライアンスの必要性など、VMビッグバンに向けた問題点に関するリストを共有した。

コミッティ並びに作業部会会合/コンファレンスの予定

JPY Benchmark Fallback Working Group
(日本語による会議)

1月16日、30日

**New ISDA Documentation and Protocols:
Getting Ready for Margining Understanding the Margin Requirements
For Uncleared Swaps**
(日本語によるコンファレンス)

1月20日

OTC Derivatives Regulations Working Group
(日本語による会議)

tbd

Japan Trust Bank's Fund Account Sub-Working Group
(日本語による会議)

tbd